

令和7年度 石橋北小学校第2回学校運営協議会議事録

令和7年12月2日（火）

於 校長室

【本日参加者】 11名

・学校運営協議会委員（8名）

大塙 宗里 江原 浩之 石嶋 和夫 野口 文夫
寺内 利之 渡辺 佳通 斎藤 佳代子 校長
澤田 貴典 地域連携教員

・地域学校協働活動推進員 坪山 仁 海老原 忠

・事務局 五月女 穂 教頭 （澤田 貴典 教務主任）

開会

○ 会長あいさつ

○ 校長あいさつ

○ 協議（進行・・・会長）

校長

（1）石橋北小の教育について

○授業及び今年度の様子、これまでの取組や学校運営上の課題について
《プレゼンテーションソフト等による説明は割愛》

・地域の皆さんに、日本庭園の掃除や整備などのご協力をいただき、きれいになりました。いろいろな方の力をお借りしながら日々の教育活動ができると感じています。

・教育力のある地域の力を日々感じながら教育活動を進めています。今後とも、子どもたちのためにいろいろなお力添えをいただけたらと思います。皆さんと協力しながら進めていきたいと思います。よろしくお願ひします。

会長

・子どもたちの活動の様子がよく分かりました。また、地域の方々がいろいろな場面で参加してくださっていますね。私たちの知らないところで、知らない方たちがいろいろな場面で関わってくれています。これが石橋北小学校のいいところの一つであると感じました。何かお気づきのことはございますか。

委員

・かなり枯れている木があるということだが、緑の多い環境を保持していくことはとても大切だと思う。今後、樹木の追加、植樹の計画はあるのか。

教頭

・今のところはあまり考えていない。今は、防犯上あまり植えないで環境を整えている状況もある。今後また検討していく。

委員

・防犯対策をする上では隠れやすい環境を作ってはいけないが、学校=桜というイメージもあるので、10本枯れても3本くらいは新たに植えてもらえばと思う。難しいところもあるかもしれないが、多少は桜を残してもらいたい

	たいという気がしている。
会長	・桜倒木の予兆はあったのか？
校長	・風のない日だったが、朝の巡回で鉄棒に寄りかかっていたのを発見した。子どものいない時間帯で幸いだった。他の木も業者に点検してもらったら、腐っていて危ない木があるとのことであった。クビアカツヤカミキリによる被害を受けている桜の木もあるので、市と相談しながら対応していく。
委員	・木を見たら腐っているように感じた。サルノコシカケができていた。
教頭	・年度初めに業者による点検をしてもらい、腐っている木のピックアップをし、市へ伐採の要望をしていた矢先に倒れてしまった。そんなこともあり、腐っていると指摘があった木は急遽伐採してもらった。
会長	・先ほど、委員からの発言にあったが、学校の事情はあると思うが、やはり学校には桜が欲しいと感じる。
校長	・東側には残っているので春には咲いてくれると思う。
委員	・校内の木の手入れをしながら、木が遮蔽物になってしまっており、防犯上の妨げになっていると感じた。撤去すれば、校舎側から校庭の様子がより良く見えて教師が指導しやすくなるのではないか。緑があり環境的には良いが、子どもたちの安全面を考えると、もう少し見晴らしが良い校庭になるように考えてもいいのではないか。
校長	・一気に全ての実施は無理かもしれませんので、創立50周年に向けて少しずつ木の手入れや植樹などの環境整備を検討していきたい。
委員	・学校ができた当初は地域の方が木を持ってきて植えてくれていた。そのため、愛着のある木も多いが、防犯上の理由ということで理解をいただければと思う。
委員	・切りすぎると田んぼに校庭の砂が飛んでしまい、稻への影響も考えられるので注意が必要。
委員	・不審者対応について、保護者には市や学校からメールが届いているのだが、地域全体にも昔の消防団の放送のように周知できると、不審者への警告にもなり、スクールガードボランティア同士で目配せもでき、防犯に繋がると思う。そのような情報があると、近隣住民も防犯への意識が高まるのではないか。市とも連携を図れるといいと思う。
	・隣の宇都宮市に比べると、下野市には通学路用のグリーンベルトが少ないと感じている。市の協議会を通じて請願している。他の委員の方々も、機会があればぜひ声を挙げていただければと思う。
会長	・確かにグリーンベルトが少ない。設置されていても幅が狭い所が多い。雑草などが生えているとグリーンベルトから外れて歩いている。私も心配していたところである。市にお願いしたほうがいいと感じる。
委員	・歩道に生えている雑草は、市にいえば除草してくれるのだろうか。
会長	・してくれると思う。除草剤を散布している方を時折見かけるが、市の職員のような雰囲気である。

委員	・通学路の歩道上に、強風の影響で銀杏の葉や実が落ちた際、市に連絡したらきれいにしてくれた。
委員	・以前に市長と話をした際には、畑から道路にはみ出している部分の草は環境課かどこかが処理してくれるが、畑の中に関しては個人の所有物なので難しいとのこと。
校長	・子どもたちが通る歩道は限られた広さなので、地域の方から声を掛けていただけますと助かります。
会長	・本日の授業風景を見ていかがでしたか。
委員	・教材を映しているテレビ画面が小さく感じた。文字も小さいので、拡大して使うなど工夫が必要である。テレビ画面に頼りすぎることなく、補助的に使用し、有効に活用できると良い。改善の余地があると思う。
会長	・先生の声が小さく感じたが、子どもたちは先生の声が聞こえるのだろうか。
委員	・特に低学年児童に対しては、ゆっくり、はっきり話さないと聞き取れないかもしれない。座席の位置により、教科書を見ている子と、テレビの画面を見ている子がおり、委員が指摘したように、テレビ画面の活用方法は改善の余地があると感じた。
校長	・今頂いたご意見は教員とも共有させていただきます。ありがとうございました。
教頭	(2) 学校評価について（学校評価の項目、評価方法等） ・石橋中学校区の学校評価項目及び本校の項目が、配付してある用紙に示されています。令和5年度からの経年変化を見取ることを、石橋中学校区の先生方と確認しました。11月末までに保護者、児童、教職員にアンケートを実施しました。結果は第3回学校運営協議会で示し、次年度に向けて課題を確認していきたいと思います。
委員	・これは、何段階評価なのか。
教頭	・5段階評価です。
委員	・項目に、「マナーを守って給食を食べている。」とあるが、マナーを守るとはどんなことを評価すれば良いのかなど、曖昧な表現がある
委員	・今も黙食は継続しているのか。
校長	・以前のような徹底した黙食のスタイルではない。感染症対策として前向き給食は継続しているが、最初から最後まで黙って食べましょうというスタイルではない。
委員	・子どもたちが授業で分からることがあった時に、先生に聞けるのか聞けないのかという項目があるといいと思う。「先生は困った時に相談しやすい。」という項目はあるが、学習面と生活面を分けた方が、子どもたちにとっては答えやすいのではないか。
教頭	・石橋中学校区共通で実施しているので、今後集まる機会に、先ほどのよう

	な話題が出たことを共有し、どのような形にしていくかを考えていきたいと思います。
委員	・各地域の育成会活動が停滞し、役員のなり手がおらず、行事ができない地域もある。そんな状況もある中で、学校、先生方と保護者との関係はどんな形になっているのか。子どもたちがかわいそうである。子どもたちは変わっていないが、保護者が変わってしまったように感じる。
校長	・石北小学区は教師と保護者の関係は近いと感じている。家庭教育学級で教育事務所の先生を招くなどの取組をして、保護者向けに子どもたちの育て方講座を開き、保護者同士のコミュニケーションを図り、横の繋がりをもてる機会を設けている。育成会の組織などに関しては、学校が踏み込むことは難しい。
会長 推進員	・地域学校協働活動推進員の方々からお願いいいたします。 ・現在、国分寺中学区に地域学校協働本部を設置している。R8年度から準備を始め、R9年度には石橋中学区にも地域学校協働本部を設置する予定である。子どもたちと地域とを繋ぐことが地域学校協働本部の活動の1つである。地域の方々が子どもたちを知ることでお互いの顔を知り、防犯面でも効果的である。来年度の地域学校協働本部設置準備の際には、本日出席の学校運営協議会の方々の協力が不可欠ですのでよろしくお願ひします。
推進員	・今日出席されている委員の方々は高い関心をもって学校支援に取り組んでくださっている。保護者の方々も学校中心に学校支援に動いてもらえるようになると、地域学校協働本部に繋がるいい体制になると思う。ご協力ご理解の程よろしくお願ひします。
会長	・以上で協議を終わりにしたいと思います。

閉会